

ふれあitomとともだより No. 15

鶴牧・落合・南野地区地域福祉推進委員会

発行：ふれあitomとも世話人会 問合せ：多摩市社会福祉協議会 まちづくり推進担当 関戸4-72 ギャク・ミーネ7階

☎:042-373-5616 FAX:042-373-6629

ふれあitomとも（鶴牧・落合・南野地区地域福祉推進委員会）では、「防災と見守り」をテーマに、自治会・住宅管理組合やサロン、民生・児童委員、地域包括支援センターなど様々な団体のネットワークづくりをしています。

「ふれあitomとも」で情報共有や意見交換を行い、「地域の横のつながり」をつくり、地域の課題解決に向けた取り組みや活性化を図る活動をしています。

地域の社会資源を知ろう！

7月の全体会では、「地域の社会資源を知り、新たなつながりを」というテーマで、二つのNPO法人を紹介しました。

NPO 法人アピユイ 発達相談支援センターCORONOAH（ころのあ）

児童発達支援管理責任者 武内 典恵 氏 より

児童福祉法に基づく、福祉事業の一つである児童発達支援・放課後等デイサービス事業を行っている。支援対象は未就学児から高校生までの発達に課題や特性のある子どもで、利用する際には自治体からの受給者証が必要。

＜支援内容＞個別支援（学習、読み書き、コミュニケーション支援）

小集団支援（SST、集団でゲーム、調理活動など）

その他、保護者との相談支援や勉強会、学校や行政等との連携



NPO 法人わこうど 未来樹

未来樹所長 小宮山 香 氏 より

障害者総合支援法に基づく、就労継続支援B型事業所を運営している。主たる支援対象は精神障がい者で、アットホームな環境の中、さまざまな活動を通して自信を回復し、穏やかで充実したその人らしい生活を送ることができるよう、支援することを活動の目的としている。

＜支援内容＞個別支援（個別支援計画作成、電話・面接による相談、訪問、各種手続き等）

作業（和紙製品等の自主製品づくり、無農薬野菜の販売、公園清掃等）

グループ活動（レクリエーション、美術活動、英語学習等）

その他、自主製品の販売、作品の展示会、地域のイベント参加



委員会をとおして地域とつながり、新たに落合団地で未来樹の野菜販売が始まりました！

地域の防災について ～東京都の新たな被害想定を読み解く～

9月の全体会では、今年5月24日に公表された「首都直下地震等による東京の被害想定」が私たちにどう関係するのかを多摩市役所防災安全課の西野氏から話を伺いました。



被害想定は減少の傾向・・・

今回想定される地震のメカニズムが変わったことにより市内の最大震度6強となる地域が大幅に減少した。これにより、平成24年度の被害想定と比較し、今回の想定では建物損壊、負傷者・死者数、避難者・帰宅困難者、ライフライン、全ての項目で被害が減少傾向と想定されている。インフラの耐震化が進んだ影響も大きい。

在宅避難の準備が必要(1週間分×人数分の備えを)

住宅の耐震化が進み、鉄筋コンクリート造の建物はほぼ全て、木造の建物は8割以上の建物は被害が小さいと想定されたことで、在宅避難(自宅での生活を続けるため)の準備をしておく必要性が高まった。多摩市では家具転倒防止機器設置事業を実施しています。こうしたハード対策と併せて食糧や日用品の備蓄も重要です。



ライフラインや流通がストップしてしまう可能性も踏まえ、1週間分×人数分の備蓄をしておくことで安心です。「東京備蓄ナビ」では、世帯構成ごとの備蓄量を調べることが出来ます。

▲東京備蓄ナビ

トイレの備えも必要です

携帯トイレ等の準備だけでなく、使用済みの汚物をどのように保管しておくかも検討しておく必要があります。

いざという時に少しでも安心できるよう、日頃からの備えが大切です。出来ることからやってみましょう！



～ 福祉なんでも相談会 ～

どなたでも、お気軽ご相談ください

開催日	会場	担当
毎月第2火曜日	トムハウス	多摩市社会福祉協議会

開催時間 11時00分～12時00分 予約不要・無料

福祉のサービス
のこと知りたい・・・

